



一人一人が輝く未来のために

今、校長室前に大きな虹を掲示して、子供たちや先生方に自分の顔写真を好きな色や好きな場所に、自由に貼ってもらっています。

ところで最近、「ジェンダー」という言葉を聞いた方がいると思いますが、ぜひ、これから意識して欲しい言葉でもあります。

「ジェンダー」とは、日本語で「社会的性別（差）」といい、「男らしさ」「女らしさ」という社会的イメージや「家事は女性が行うもの」といった社会的な役割分担を指します。このことにより、男女間に偏見や差別、不平等が生まれます。私は小学校時代「男の子は黒のランドセル」「女の子は赤のランドセル」という社会的イメージを変えとせず受け入れていました。

今、またこれからは、誰が何色のランドセルを使っても、その子の個性であり表現であり、そのことを大切にする時代です。「『男だから』『女だから』というだけで、社会的なイメージや役割分担を押しつけられて、好きなものや得意なことを制限されてしまうのはおかしいよね」、という考え方が「ジェンダー平等」の実現、すなわち、ジェンダーによる偏見や差別、不平等をなくすことにつながっていきます。



また、「ジェンダーフリー」や「ジェンダーレス」という言葉もよく聞きます。

「ジェンダーフリー」とは、社会的な性別の違いによる役割分担にしばられることなく、一人一人が自分の能力を生かして、自由に行動したり生活したりできるようにしよう、という考え方です。社会的性別(ジェンダー)から、自由(フリー)になるという意味です。

「ジェンダーレス」とは、「男女の区別をなくす」「男女の境界がない」という意味で、自分自身の性の在り方がテーマになっています。つまり、自分の生まれつきの性や、男らしいとか女らしいという周囲の思い込みよりも、自分らしい生き方、言動を大切にするという考え方です。

「ジェンダー平等」を実現する上で、大切なことがあります。それは、これまでの社会は、生活様式や社会的手続きを男性か女性という身体的な性の違いで分けてきました。しかし、体の性と心の性が異なったり、同性が恋愛対象になったりする人もいます。また、自分の性と異なる表現(服装や持ち物、生活スタイル等)を好む人もいます。私たちは、性自認や性表現は一人一人が異なり「多様」であることを知り、個性として共に社会を形成していくことがこれから必要です(すべての子供たちが平等に大切な存在です)。

これからの社会は、今まであった職業がなくなり、今までにない職業が生まれます。その時に、古い考えや枠付けは、子供の可能性や活躍の場を狭めます。

市田小学校の子供たちには、自分の得意を見つけ、好きを表現しながら、これからの社会をたくましく生き抜いて欲しいと願いつつ、自分の顔写真を好きな色や好きな場所に自由に貼ってもらっています。

そよかぜ給食 ～そよ風吹く青空の下、みんなで楽しくおいしい給食を食べました～



みんなで楽しく食べました。

5月25日（水）にそよかぜ給食を行いました。天気にも恵まれ、暑くもなく、寒くもない絶好の天気でした。1年生～6年生までの縦割り班でなかよく食べました。終わった後は、それぞれの班で、鬼ごっこなどの遊びを楽しみました。素敵な時間を過ごせました。

新体カテスト～コツコツと鍛えた体は宝物～



それぞれの種目に全力で取り組みました。

5月26日（木）に新体カテストを行いました。50m走やボール投げ、立ち幅跳びなどをしました。「コツコツと鍛えた体は宝物」です。これからの暑さに負けない体を作りましょう！

田植え体験～お米一粒のありがたみを～



楽しさと大変さを実感しました。

5月27日（金）に5年生が田植え体験を行いました。地域の方の田んぼをお借りして行いました。午前中は雨でしたが、午後は晴れて、気持ちよくできました。稲刈りも楽しみです。

交通安全教室 ～自分の命は自分で守る～

5月27日（金）に3・4年生が交通安全教室を行いました。主に自転車の乗り方を学びました。「ブタベルサハラ」を確認して、安全運転をして、これからも自分の命は自分で守れるようにしていきましょう。



陸上フェスティバル ～陸上競技のお祭りです～



6月3日（金）に6年生が陸上フェスティバルに出場しました。約1か月練習してきた成果を発揮しようとどの子どもがんばっていました。素晴らしい競技場の中での運動は、生涯忘れられない思い出となったことでしょう。

裏面もあります